

## ヤマブドウ植栽後の管理のポイント

植栽後は以下に注意して管理を行いましょう。

### 除草の徹底

新梢が伸びてきたら、垣根施設等に結わえる  
特に以下の病虫害に注意！

病害・・・黒とう病、べと病

虫害・・・マメコガネ、ブドウハモグリダニ

### 1 除草の徹底

植栽直後は苗高がまだ低く、6月～7月に他の雑草の被圧を受けやすいので、園地を巡回し下草が繁茂してきたら早めに下刈り除草を行ってください。

### 2 新梢の誘引

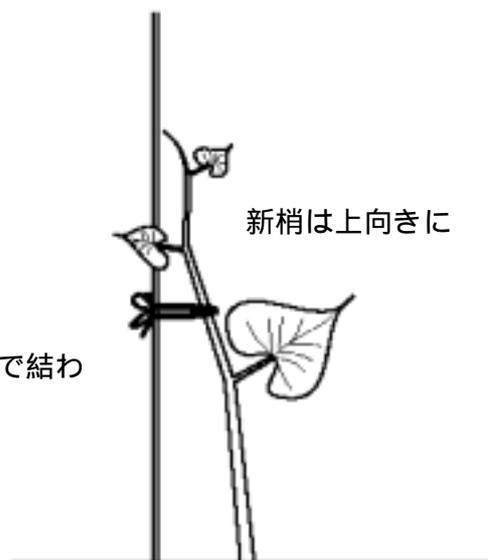
新梢を伸ばし葉量を確保する必要があるため、新梢が伸長してきたら、右図のように新梢を垣根施設や棒にひもで上向きに結わえます。

なお、夏期剪定や摘心は植栽当年には行いません。

### 3 病虫害防除

ヤマブドウは山野に自生しているので特に管理しなくても果実を収穫できるイメージがありますが、栽培してみると様々な病虫害が発生します。病害では、黒とう病やべと病、虫害では、マメコガネやブドウハモグリダニが植栽当年にも発生することが予想されます。

なお、薬剤散布は病虫害防除基準に準じて行うこととし、地方振興局の普及職員等に相談して適切に実施してください。



垣根の番線まで新梢が届かない時は、根元に棒を立てて誘引するなどして、伸長した新梢を地面に這わせないこと

(担当 林産利用部 上席専門研究員 小原孝文 専門技術員 伊東茂敏)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11 TEL 019-698-1337  
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410  
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>